

平成 17 年度当初予算 施策別概要

224 農林水産業を支える技術開発の推進

(主担当部局：総合企画局)

- 22401 農業を支える技術開発の推進 (総合企画局)
- 22402 畜産業を支える技術開発の推進(総合企画局)
- 22403 林業を支える技術開発の推進 (総合企画局)
- 22404 水産業を支える技術開発の推進(総合企画局)

< 施策の目的 >

- (対象) 農林漁業者が
- (意図) 開発された技術を有効利用して生産活動を行っている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
県試験研究機関が開発した技術による農林水産物の作付面積・生産量等の伸び率(%)	目標値	-	180	190	200
	実績値	174	197		

県育成品種の県内水稻作付面積におけるシェア(%)、県内産和牛枝肉の上物率(%)、ヒラタケ・ハタケシメジの生産量(t)、耐病性アコヤ貝の生産量(万個)の基準年(2002年度)を100とした場合の伸び率の平均値

< 平成 17 年度に残っている課題 >

農林水産物に関する地域間競争も激化してきており、地域経済の牽引役となる新しい地域ブランドの開発とともに、現在、市場に流通している地域特産品の競争力を向上するための技術開発が求められています。

県民の嗜好の変化や本物志向の傾向が強くなる一方、食の安全や環境問題に対する消費者意識が高まっています。このため、生産者サイドにおいても、食の安全をさらに推進する技術開発へのニーズが高まっています。

自然環境に適合した伝統的な地域の産業として、地産地消を推進するとともに持続性を持って、安定的にまた効率的に農林水産業を維持・発展させることが望まれています。

農林水産業の持つ多面的機能を維持しながら、地域の産業として維持・発展させるため、農林水産業から排出される環境への負荷をさらに減少させるとともに、循環型社会実現に貢献できる技術開発が求められています。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

新しい養殖魚種マハタのブランド化を目指し、種苗の大量安定生産技術の開発を進めるとともに、松阪牛、伊賀牛などについて、他産地の追随を許さない産地ブランドとして、更なる品質向上技術の開発を進めます。

減農薬栽培など食の安全・安心の確保のため、葉菜類に含まれる硝酸塩の実態調査と低減化技術開発を進めます。

県内に古くからある酒米生産や酒造業の持続的発展と地域の特色ある農産物による加工品を目指し、商品化を推進するとともに、県内産材に見られる害虫被害材の新たな用途開発に取り組みます。

畜産業でのふん尿処理の適正化、悪臭軽減等、環境への負荷を低減させる技術開発を進めます。

<主な事業>

(重)「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費

【基本事業名：22404 水産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 11,769千円 11,772千円

事業概要：新しい養殖魚種「マハタ」の高品質種苗の大量安定生産技術を確立するため、生残率の向上、形態異常魚対策、ウィルス病対策の課題解決に取り組みます。

(重)肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発費

【基本事業名：22402 畜産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 4,680千円 3,000千円

事業概要：県内産和牛の肉質について、脂肪質（脂肪酸組成、脂肪融点）の観点から分析し、血統や飼養管理による脂肪質の差異を明らかにし、肉牛生産者に改善点を指導します。

葉菜類における硝酸塩低減化技術の開発費

【基本事業名：22401 農業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 3,850千円 2,372千円

事業概要：ナバナ、モロヘイヤ等の県内主要葉菜類について、硝酸塩の含有量の実態を明らかにするとともに、低減化技術を開発します。

(新)新しい三重の酒造好適米品種の育成と地域特産化事業費

【基本事業名：22401 農業を支える技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 3,692千円

事業概要：酒造適性に優れた一般酒向け酒造好適米の育成要望に応えるため、現在保持している有望な酒造好適米系統の実用規模での酒造適性の検討ならびに栽培適性の検討を行い、三重県産の地域特産酒を開発し、県産日本酒の品質向上と消費量の拡大を図ります。

(新)スギ・ヒノキ穿孔性害虫被害材の有効利用技術の開発研究事業費

【基本事業名：22403 林業を支える技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 719千円

事業概要：害虫による被害材（通称アリクイ材）の問題である強度特性を解明し、害虫による被害材であっても使用可能な土木建築資材等新たな用途を開発します。

微生物制御による採卵鶏農場における悪臭・衛生対策技術開発費

【基本事業名：22402 畜産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 2,486千円 2,203千円

事業概要：採卵鶏農場における悪臭及び粉塵を抑制する技術、ならびに耕種農家の利用しやすい成分の安定した高窒素な鶏ふん堆肥を生産する技術を開発します。